

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	そばの学校 in ふるさと体験館きそふくしま
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 ふるさと交流木曾 木曾郡木曾町新開 6959 番地 電話：0264-27-1011
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	462,529 円 (うち支援金： 370,000 円)

事業内容

- ① そばの文化と料理を学ぶ研修会を行った
第1回(6月25日) そばの歴史とそばの特性、そば粉の種類と特性 (参加人数14人)
第2回(7月9日) そば粉を使った伝統料理 (参加人数14人)
- ② そば打ち教室を開催する
講師を招いての教室 7回 延べ98名



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 2回の研修会で、そばの歴史、特性、そば粉を使った伝統料理を学び、そばの利用促進とそば文化の伝承を28名に行った。
 - ②そば打ち教室では、講師を招いて7回と自主的な練習を行った。21名の参加者の申し込みがあり、そば打ちを学ぶの場としての必要性を感じた。目標参加人数延べ80名の23%上回った。
- 参加者との交流と仲間づくりを行い、行事やイベントに対応できる技術の人的資源の育成をおこなった。地域や県内のイベントに参加して、そばやスンキそばをPRし、木曾の魅力発信し観光客誘致を行った。開催月は、お天気が悪く、来場者が少なく誘客目標の22%にとどまってしまった。事業が終了後も仲間同士がそば打ちを引き続き行う予定である。

【目標・ねらい】

- ① そばの利用促進と伝承
- ② そばの技術の学び、仲間づくり

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・研修会の参加者が目標の46%と少なかった
- ・そば打ち教室は、全部の会を参加できる人が少なかった
- ・イベントの入込が目標の22%だった

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- そば打、そば料理の技術を引き続き伝承する場としていく。
- 学んだ技術も定期的に打っていかないと技術力が落ちてしまうために、仲間で声をかけあい定期的に集まってそば打ちを行う。
- イベントに参加し木曾のそばとすんきの発信を引き続き行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある